

## 知事コメント

令和4年7/6(水)

6月24日から適用された沖縄県対処方針においては、これまで身につけた感染対策を定着させるよう、呼びかけてきたところですが、昨日は40日ぶりに新規陽性者数が2,000人を超えるなど、県内における感染者数は増加傾向にあります。

新規陽性者数は全年代で増えており、特に、10代や10歳未満の子どもたちにおいて感染が広がっています。

また、直近1週間における新規陽性者数の前週比は、6月24日以降は1を超えており、感染増加の勢いは強まっています。

入院者数の増加とともに病床使用率は上昇し、7月6日時点の県全体においては48.2%、本島圏域は52.6%、八重山圏域56.8%と高い状態にあります。

また、非コロナ病床使用率も97.0%と高い水準にあるほか、医療従事者の休職者数は400名以上となる等、医療機関の負担感は増しています。

病床使用率は、入院調整に困難が生じる水準とされる60%に近づいており、非常に厳しい状況です。

そのまま病床使用率が上昇し、さらなる医療ひっ迫が懸念される場合には、対策の強化が必要になると考えています。

そのような事態にならないよう、県民の皆さまに徹底していただきたい取組が3点あります。

まず1点目として、人が集まる場所ではマスクを着用し、換気をして下さい。特に、友人の部屋など、狭い空間に長時間にわたって密集しないようにしましょう。

2点目として、発熱、のどの痛み、咳、鼻水等、少しでも体調不良を認める際には、通勤・通学・会食等の外出は控えて下さい。

特に、症状が見られた日から7日間は、重症化リスクの高い高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦等に会うのは控えましょう。

また、みんなで救急医療を守るため、救急車の適正利用を心がけ、救急でない場合は救急受診をせず、日中に発熱外来を受診しましょう。ご自宅に解熱剤など市販薬を常備しておくで安心です。

3点目は、ワクチン接種のお願いです。ワクチン接種による発症予防・重症化予防の効果が報告されています。ワクチン接種を最新の状態として下さい。特に、60歳以上の方や基礎疾患を有する方は、早めに4回目接種をお願いします。

県においては4回目接種の目標設定を行い、市町村と連携してワクチン接種の加速化を図ります。なお、県広域接種センターにおいては、7月1日からモデルナ社製ワクチンを使用した4回目接種を開始していますので、60歳以上の方はご活用下さい。

3回目接種がまだの方は、早めの接種をご検討下さい。

7月15日から那覇クルーズターミナル会場において、副反応が少ないと言われている、武田社製ワクチン（ノババックス）の接種を開始します。

ノババックスの接種対象は、18歳以上の方で、初回1・2回目接種の方、及び3回目接種の方となります。

3回目接種は、初回接種ワクチンの種類に関わらず、接種が可能です。

ノババックスの予約受付を本日から開始いたします。詳細は県広域ワクチン接種センターのホームページに掲載いたしますので、接種を希望される方は、後ほどご確認下さい。

これから沖縄観光のピークシーズンを迎えます。訪れた皆さんに沖縄観光をしっかりと楽しんでいただくとともに、夏休みやお盆を楽しみものとするには、ワクチン接種の推進と併せて私たち1人1人が、これまで身につけた感染対策を日頃から継続して、実践できるかが重要となります。

県民の皆さまにおいては、熱中症には十分留意しながら、感染対策の徹底に取り組むようお願いいたします。